

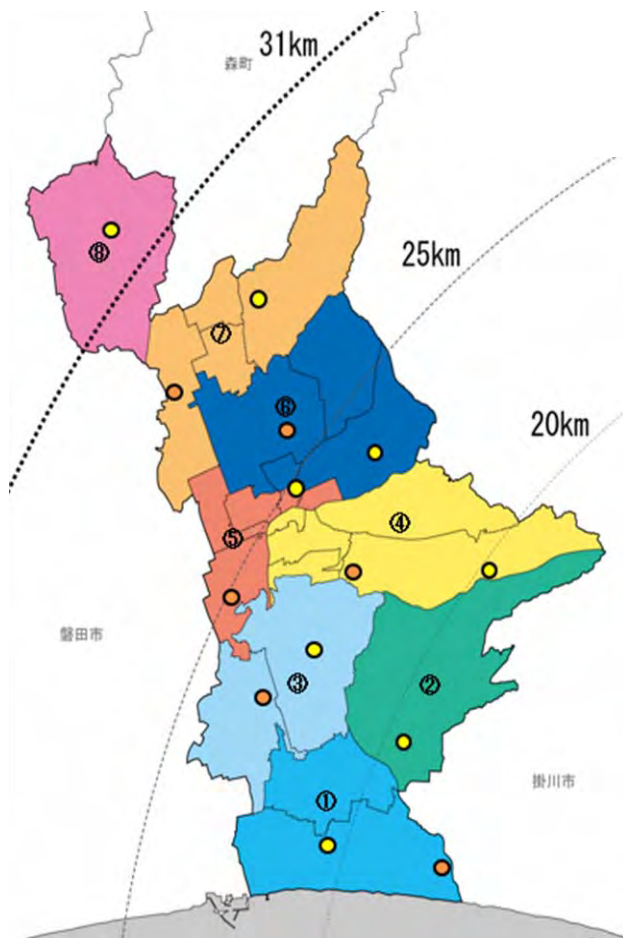
令和 2 年 3 月 13 日  
総務部危機管理課

### 袋井市原子力災害広域避難計画の概要について

東日本大震災後、浜岡原子力発電所（静岡県御前崎市）31km圏内が、原子力災害対策重点区域に設定された。この度、三重県及び福井県の避難先市町及び避難経路候補施設と受入に関する同意をいただき、避難の基本的な流れが整ったことから、「袋井市原子力災害広域避難計画」を策定した。

#### 1 避難単位と空間放射線量率測定候補地点

避難単位ごとに設置する測定機の放射線の値に基づき、避難単位ごとに避難指示を行う。



単 位	自治会 連 合 会	空間放射線量率 測 定 候 補 地 点
①	浅羽南 浅羽東	A 浅羽南小学校 B 中新田地区命山
②	笠 原	A 笠原小学校
③	浅羽北 浅羽西	A 浅羽東幼稚園 B 浅羽西コミュニティセンター
④	豊 沢・愛 野 高 南・高 尾 駅 前	A 菩提ふれあい公園 B 豊沢の丘防災広場
⑤	方 丈・袋 井 川 井・田 原 袋 井 西	A 袋井市役所 B 田原幼稚園
⑥	袋 井 東 一 袋 井 東 二 袋 井 北 袋 井 北 四 町	A 袋井東コミュニティセンター B 袋井市総合体育館
⑦	上 山 梨 下 山 梨 宇 刈・今 井	A 山梨幼稚園 B 今井小学校
⑧	三 川	A 三川地区コミュニティ広場

● : A 空間放射線量測定候補地点  
● : B バックアップ又は追加補足地点

#### 2 避難等の判断基準

放射線の測定値が基準値（0IL）を超えた場合、住民は避難等を開始します。

EAL (原子力施設の状況等)		避難等の 内容
警戒事態	震度6弱以上	—
施設敷地 緊急事態	全交流電源喪失 その状態が継続 した場合等	屋内退避 準備
全面緊急 事態	原子炉冷却機能が 全て失われた 場合等	屋内退避 の実施

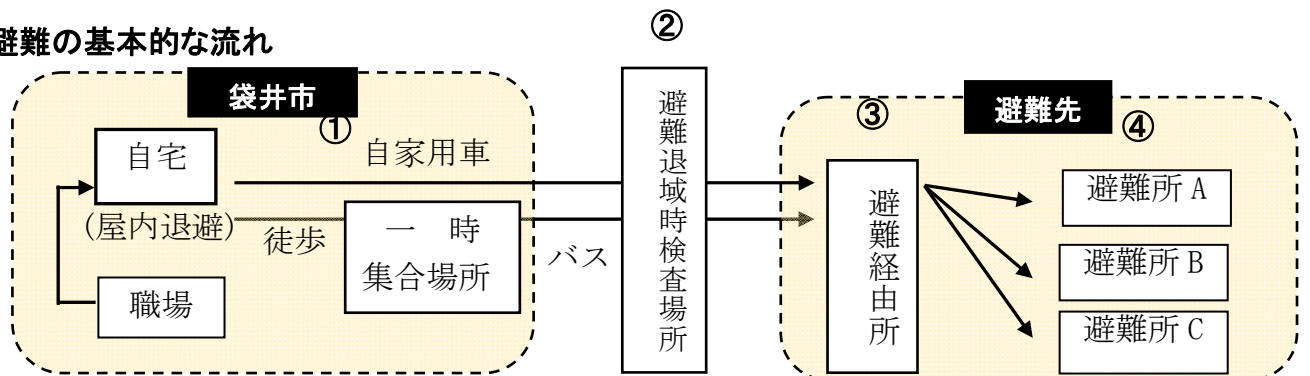
放射線物質放出

0IL (空間放射線量率)	避難等の内容
20μSV/h未満	屋内退避の実施
【0IL2】 20μSV/h超過	1週間程度以内に一時移転
【0IL1】 500μSV/h超過	速やか(1日以内)に避難

### 3 袋井市の避難先

避難先1	原子力災害が単独で発生した場合等	三重県(全 29 市町)
避難先2	大規模地震との複合災害時などで避難先1に避難できない場合	福井県(嶺北 11 市町)

### 4 避難の基本的な流れ



- ① 原則、自家用車で避難し、自家用車で避難が困難な住民等はバス等で避難する。
- ② 避難退域時検査場所では、静岡県が放射性物質の検査や簡易除染を行う。

表2 避難退域時検査及び簡易除染の実施場所の候補地(西方)

避難経路	候補箇所	避難経路	候補箇所
東名高速道路	遠州豊田P A、三方原P A、浜名湖S A、航空自衛隊浜松基地	国道1号、県道	調整中
新東名高速道路	遠州森町P A、浜松S A	国道150号	竜洋海浜公園
		森町内	町内公共施設

- ③ 住民は避難先の地理に不案内であることから、まず避難経由所を目指す。避難経由所では、避難者の避難所割振り及び避難所へ案内等を行う。(三重県3頁・福井県4頁参照)
- ④ 住民の避難所の割振りは、コミュニティに配慮し、自治会等を単位に割振りを行う。避難所運営は自然災害と同様とする。(三重県3頁・福井県4頁参照)

### 5 今後の検討課題

本計画は、避難等を迅速、確実に実施できるよう、避難等の判断基準、避難先、避難経路、避難手段等について定めたものであるが、より実効性のある計画にしていくために、検証を含めさらに検討を進め、本計画への反映や関連する計画やマニュアル等の作成をしていく必要がある。

#### 今後、避難計画へ反映していく課題等

- ・ 避難退域時検査場所候補施設の決定
- ・ 避難経路の決定・手段の確保
- ・ 西方へ避難する市との調整
- ・ 燃料の確保、渋滞対策、降雪対策
- ・ 家畜・ペットの避難

### 6 令和2年度の取組

静岡県、三重県、福井県、避難先市町とともにマニュアル作成等に取り組む。

- (1) 避難経由所及び避難受入マニュアルの作成
- (2) 袋井市と避難先市町による、広域避難受入に関する協定の締結
- (3) 広報などによる住民周知
- (4) 冬季避難手段の確保等の課題解決に向けた取組